

国勢調査結果まとまる

60年間で約11倍も増加

人口

向日市の人口は、昭和55年10月1日現在で、五万六千四百八十八人(四五・二%)。つづいて宅地開発が進んだ上植野区が、七千三百三十一人(一四・一%)で前回調査二位の鶴冠井区を千四百三十八人上回りました。この十年間の推移をみると、寺戸区、森本区の人口は減少し、物集女区、上植野区が高い伸びを示し、市内におけるドーナツ化現象の進行がうかがえます。

第一回国勢調査が行われた大正9年の人口が、四千七百二十二人ですから、この六十年間に十・七倍にも増加しています。

昭和35年から目立ちはじめた人口増加は、45年に増加率七八・四%とピークをむかえ、以後、しだいに減り、55年には増加率一〇・三%と鎮静化しています。

行政区別に見てみると、トップは、寺戸区で二万二千八百八十八人(四五・二%)。つづいて宅地開発が進んだ上植野区が、七千三百三十一人(一四・一%)で前回調査二位の鶴冠井区を千四百三十八人上回りました。この十年間の推移をみると、寺戸区、森本区の人口は減少し、物集女区、上植野区が高い伸びを示し、市内におけるドーナツ化現象の進行がうかがえます。

年齢構成では、15歳未満の年少人口が、この五年間で五・四%の伸びにとどまっているのに対し、65歳以上の老年人口が二・一・八%と大幅な伸びを示し、人口の老年化の傾向を強めています。平均年齢も、昭和50年の二十八・九歳から昭和55年の三十・二八歳に若干上昇しました。

国勢調査の結果がまとまりました。国勢調査は、国内に住んでいるすべての方を対象とした、国の最も基本的で大規模な統計調査で、五年ごとに行われます。今回の調査は、昨年10月1日に行われたもので、向日市では、二十五人の指導員と三百二十八人の調査員によって実施されました。それでは、その主な項目について、紹介しましょう。

都市化の進展によって急速に減少し昭和55年には二・二%にまで落ち込みました。

第二次産業部門は、高度成長期に著しい伸長をみせ昭和45年には四〇・〇%にまで拡大しました。しかしオイルショックを経験し、低成長期に入るとともに減少し、昭和55年には三五・四%にまで比重を下げました。第三次産業部門は、昭和35年以来一貫して上昇し、昭和40年には五二・

〇%と全就業者の半分を占め、昭和55年には六二・四%にまで上昇しました。

また、労働力人口の割合も労働力率を、十年前の調査と比較すると、男女とも若年層の進学率が高いいことを反映して15歳〜19歳の労働力率が著しく低くなっています。

男子の高齢者では、今回の調査の方が労働力率が低いのに対し、女子では20歳以降、一貫して高い割合を示しています。

産業

第3次産業が大幅な伸び

15歳以上の就業者、二万九千二百二十五人の産業部門別構成をみてみましょう。

第一次産業部門の就業者の割合は、昭和35年には一八・〇%を占めていたが、産業構造の転換や

転出先は滋賀県がトップ

人口移動

昭和54年10月1日から55年9月30日までの1年間に近畿府県から向日市へ転入してこられた方は、三千七百人で、逆に転出された方は三千二百七十一人となっており、二百六十四人の転出超過となっています。

これを年齢別にみると、転入では25〜29歳の年齢層が六百二人でトップ、転出では、30〜34歳の年齢層が五百五十四人でトップとなっています。

転入者の移動前の住所は大阪府が四百六十二人(五八・二%)を占めています。また、転出では、滋賀県への転出が、四百九人(四四・〇%)、次いで大阪府三百四十四人(三七・一%)で、あわせて八割を占めています。

年々大きくなる住宅の規模

住宅

昭和55年の普通世帯のうち、住宅に住む一万五千八百八十三世帯の住宅の規模を一世帯あたり平均居住室数および畳数で見ると、いずれも増加傾向にあります。

一世帯あたり居住室数は昭和40年の三・九室から四・六室へと十五年間に〇・七室増加し、畳数では昭和40年の一九・五畳から二六・一畳へと、六・六畳増えています。

世帯数の伸びが、人口の伸びを上回る傾向が続く、世帯規模が三・二六人(昭和40年、三・七九人)と減ったことを考えると、居住密度が著しく緩和されてきたこととなります。

交通規制のお知らせ

市では、公共下水道事業を進めています。今回、鶴冠井町沢ノ西・草田地区、上植野町野添地区および森市町前田・鞍路地区で工事を行います。



最近、店の経営にどうも行き詰まる、マンネリ化する販売網を広げたいなど、経営に何か問題や悩みを抱えている方のために、市では「経営診断事業」を実施しています。

これは、経営に関する諸問題を指摘し、経営指導を行うことにより、これからの経営の指針に役立てていただくというものです。

診断にかかる費用は無料です。診断には必要事項を記入し、経済課に提出。後日、決定通知します。

▽対象 常時使用する従業員の数が10人以下の会社および個人であって、(1)向日市内に在住し、事業所を有している者で、原則として1年以上事業を営み、また継続してその事業を営むことが確実と思われる者。(2)市税を完納していること。要件をみたしている中小企業者

▽申込み方法 企業診断受診申請書に必要な事項を記入し、経済課に提出。

▽診断業務 診断は中小企業診断士に委託します。指示に従ってください。

▽診断結果 診断終了後、企業者のみに診断結果を報告

▽申込み・お問い合わせ 経済課 内線278

10月1日は子宮ガン検診申込み日

10月1日(木)は子宮ガン検診の申込み日です。申込みは代理の方でもけっこうです。近所のお年寄りの方もささいあって受けましょう。

▽申込み方法 健康管理課 内線232

号・世帯主名が必要ですが、返信用切手・封筒・必要事項を書いたものに限り、郵送でも受け付けます。

▽受付方法 期間 10月1日〜31日 場所 府下、京都市内の産婦人科医療機関 費用 300円

▽お問い合わせ 健康管理課 内線232

大型ゴミ無料収集のお知らせ

▷収集時間と場所 収集当日の午前8時までに、燃えるゴミを出している場所へ出してください。

▷収集できないもの 会社・商店・事業所・工場等から出る営業上のゴミ・ガスボンベ・薬品等取扱上危険なもの、土砂・がれき・土木建築廃材・オートバイ・スクーター

◇お願い◇
▷無料収集はこの期間だけです。以後出されても収集いたしません。
▷テレビ・洗濯機・冷蔵庫などの大型ゴミは買い換えるときに販売店へ返すようにしてください。
▷出されたゴミには必ず「大型ゴミ」と書いた紙を貼ってください。(できるだけ大きく書いてください)

収集日	収集区域
10月7日(木)	寺戸町府道上久世石見上里線北側(府道性原線高槻線東側・阪急西側) 寺戸町八反田
10月8日(金)	寺戸町府道上久世石見上里線南側(阪急西側(大牧除く) 森本町(阪急西側)
10月9日(土)	上植野町全域(西向日町除く)
10月14日(木)	寺戸町(府道上久世石見上里線北側・府道性原線高槻線西側(大牧住宅含む))
10月15日(金)	物集女町全域
10月16日(土)	寺戸町(阪急東側・府道北側)
10月21日(木)	森本町(阪急西側除く) 寺戸町(阪急東側・府道南側)
10月22日(金)	向日台・向日町・西向日町全域
10月23日(土)	鶴冠井町全域(向日町除く)

共同募金にご協力をお願いします

今年も10月1日から共同募金運動が始まります。みなさんから寄せられました善意の募金は府下の福祉施設、市内の私立保育所および社会福祉協議会に分配され、各種福祉事業費にあてられます。ひとりひとりの善意が集まって大きな輪になるようにご協力をお願いします。

共同募金会向日市分会
向日市社会福祉協議会